

疾患名 小細胞肺癌

No.261

プロトコール名 イミフィンジ+ VP-16・CDDP (short hydration)

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	デュルバルマブ (イミフィンジ)	1500mg/body	div	60分	d1
2	エトポシド (エトポシド・VP-16)	100mg/m ²	div	90分	d1.d2.d3
3	シスプラチン (シスプラチン・CDDP)	80mg/m ²	div	60分	d1

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	21日
総コース数	4サイクル(終了後はイミフィンジ4週間間隔で維持療法)
コース間での休薬の規定	重篤なirAE発現時: イミフィンジ休薬、G3以上の血液毒性または非血液毒性発現時

減量規定・中止基準	減量基準 ・G4の血液毒性、G3以上の非血液毒性 G1回復後、1段階減量で再開 ・肝障害 T-Bil 1.5~3.0mg/dL VP-16 1段階減量 T-Bil 3.0mg/dL以上 中止 ・腎障害 Ccr46~59mL/min CDDP 1段階減量 Ccr31~45mL/min VP-16 1段階減量 CDDP 2段階減量 減量 Ccr30mL/min以下 中止 イミフィンジに関連した、間質性肺炎など重篤なirAEで中止
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし(状態に応じて延期)
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	イミフィンジ→エトポシド→シスプラチン
プレ Medikation・ポスト Medikation	<プレ Medikation> p.o アプレピタントカプセル125mg(day1)80mg(day2-3) div グラニセトロン注1mg(day1-3) デキサート注3.3mg 3A(day1) 2A(day2-3)

※CTCAE v5.0

患者条件

- ・PS 0~2
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・心エコーEF低下患者(EF<50%など)
- ・PS3以上
- ・重篤な骨髄抑制のある患者や、感染症を合併している患者
- ・本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、他の白金を含む薬剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

実施上の注意点

- 慎重投与
- ・PS2以上
 - ・75歳以上の高齢者
 - ・自己免疫性疾患のある患者
 - ・骨髄抑制のある患者
 - ・間質性肺炎、肺線維症、又はこれらの疾患の既往歴のある患者
 - ・肝障害、腎障害のある患者
 - ・Ccr<60の場合CDDP減量考慮
 - ・ショートハイドレーション
 - ・イミフィンジ: 30kg以下の場合20mg/kgで投与

その他(特記事項)

- イミフィンジ: 本剤投与時はインラインフィルターは使用
- エトポシド: フィルターを避けること